

しなければならぬこともない。たゞ初めから、教育者の方から、こうして幼児に手技をさせようとする時、その効果

の期待のあるべきは、當然であつて必須のこゝであるべきなのである。

手技審査雑感

山 形 寛

初冬の某土曜日の午後、瓦斯ストーブの赤々を燃えてゐる附屬幼稚園の主事室で豫て募集中であつた手技の審査會が催された。集まつた審査員の面々倉橋さん、岸邊さん、

私は此所にその主なる作品に就て所感を述べて見ようと思ふ。

一、萬燈

和田さん及川さん等々何れも皆様御承知の方々に一度お會ひすれば忘れるこゝの出来ない外的にも内的にも特色のある存在。しかも子供と言ふ對象に向ふ時、期せずして一致する或物を持てゐる方々。

室の周圍の卓上には数は少いけれども應募者各位苦心の粒揃ひの品々が井然と併べらてゐる。

材料はきびがら、キヤラメルの空箱、麥幹、紙等である。如何にも簡単な構成でよく氣分を出してゐる。勿論幼児にも容易に作れるでせう。かう言ふ江戸趣味とも言ふべきものを現代に生かすこゝも面白いでせう。お祭、子供が好きさうです。

先づ下見をする。審査方法に就て協議せられる。そして

ば新しい生命が動いて来る。

いよく決定せられた結果は別に發表せられるであらう如き結果となつた。

作品を通して見る作者の神經は都會人らしい繊細さを持つてゐる。洗練されたよい趣味の作品である。先づ第一等

の價値十分言へやう。

二、粘土の掛額

童心に満ちた作品である。創意の多い作品である。作者の神經は太いが質のよい太さである。

波浪に美しく磨かれた小石、公孫樹の葉、竹なぎ甚だ巧に使つてゐる。數點の出品何れも面白いが特に二人の子供が踊つてゐるのが面白い。公孫樹の葉柄を利用した手、足、小石を利用した頭、胴等何物の加ふべきものも減すべきものも無い。石それ自身の持つ明瞭なきも面白く活用してゐる。

唯此の作品は生の粘土の中に石や竹を埋めて作るのであるから、粘土が乾燥するにつれ龜裂を生ずる缺陷がある。然し幼児にやらせる手技は作るこゝそれ自身、製作の過程に價値があるので、作品が保存に堪へるか否か言ふこゝは、あまり問題にする要はないのであるから、このまゝでも結構であるが、出來得べくんば、せめて子供が厭きる迄位は原形を保存したいものである。この點多少の考慮の餘地はありはしないかと思ふ。

私は此の作品を見て自分の子供の時のこゝを思ひ出し

た。よく川底から粘土を採集して來てこれに類したものを作つて遊んだこゝを覚えてゐる。

三、綿細工

色紙をむしつて貼る細工に綿を併用した所が新工夫である。いや綿を併用するこゝ必ずしも新工夫とは言へないかも知れんが此の作品は何れも、それを巧に使つて居る所に生命がある。技巧も想も如何にも子供らしいではないか、綿を使ふこゝは子供にまつて必ずしも容易な技巧ではない。然し出來ないこゝは無いであらう。極むづかしい所は手傳つてやつてもよい。

ボール紙で兎なり達磨なりの形を切り抜き、それに綿を貼り、然る後臺紙の上に貼りつければかへつて工作が容易で且つ立體的になつてより効果的になるかも知れん。

こゝにかくこの作品の醸し出す雰圍氣は幼稚園的である。そこがこの作品が二等二席をから得た所以である。

四、兵隊さん

此の作品は紙の細工にして珍らしいとは言へないでせう。然し如何にも上手に構成してある。全體のポーズも面

白く、ぎんぐりの鐵兜もよい思ひつきである。それよりも全體として輕快で、動いてゐる氣持ちが一層面白い。恐らくこの作者は優れた技巧の持主であらう。この位の腕を持つて居るならば、今少し新しい境地を開かれては如何かと思ふ。此の作品は多少技巧倒れになつて居りはしないか。今一段の研究が望みたい。

五、繪馬

繪は紙の上に畫くのが普通であり、又それでよいのであるが、時には羽子板さか、彌榮皿さか、此所に出品された繪馬さかに、その裝飾畫と言ふ意味を持たせて畫かせることも面白い。かう言ふ仕事も幼稚園におすゝめする。

此の繪馬は無論板で作つてある。手際は決してよく作つてない。この不手際な所に一種の面白さがある。この不手際な木工も子供だけで獨立して作ることは困難でせう。然し保姆さんとの合作でなら出来るでせう。此の種の木工をやることも幼稚園におすゝめする。

此の作品は何もはなしに親しめる作品である。此の作品を見るに何處かの室の壁に掛けて置き度い様な氣が起る。

恐らく萬人に愛せられる作品であらう。そこに此の作品の價値がある。全體の氣持ちとして一等當選の萬燈さきこか共通の所がある。繪もなかくよく畫いてある。然しこの作品は「唯これだけのものだ」と言ふ感が無いこともない。

六、魚のぞき

この種の作品は類似のものがまだ他にもあつた。それだけに別に新工夫を認むべき點も少かつた。然し作品の中では材料のこなし方が優れて居り、糸を吊した魚なぎもなかく働いてゐた。類似作品の代表としてこの作が三等の席に選ばれた譯である。

七、其の他の佳作々品

佳作一席に鏝屑で畫いた繪がある。別に珍らしいとは言へないが、それに用ひた鏝屑が甚だ細かい目の揃つたもので美しく著色されてゐる點が目についた。これは甚だ多くの同手法による作品が出されて居つたが、畫かれた繪が如何にも味のない大人式に抽象化され形式化された描法のものであつた爲、多少損をした感があつた。子供に畫かせた方がかへつてもつま味のあつたものになつたであらう。仕事そ

れ自身は多少幼稚園で採用してもよいでせう。

第二席の金魚鉢は前の魚のぞきこ同巧異曲の物である。

第三席の兵隊さん、この種のものさしてなかなかよく出来てゐる。別に難の打ち處はない。唯あまりに形式化された爲か、整ひ過ぎた爲か迫力に乏しい憾みがある。

第四席の色々な木の葉を利用した作品。なかなか巧みに出来てゐる。然し唯すつきり出来てゐる言ふだけで味に乏しいのは惜しいことである。この種のやり方でも工夫すればもつこ味のあるものが出来やう。子供にやらせた方がもつこ味のあるものが出来やうと思ふ。紅黄さりぐにもみぢした種々の葉を色紙を使つてする貼紙と同じやうな氣持ちで使つて種々の面白い表現をした某中等學校生の作品を見たことがある。これを幼稚園程度でやれば面白いものが出来ようと思ふ。

第五席の橋、まあ普通の作品である別に難點も無いが、これはさ思ふやうな點もない。

以上入選、佳作作品に對して寸評を試みた次第であるが、此際一寸つけ加へて置きたいのは第一にこの種の募集に對

してもつこ澤山應募してほしい事である。日々幼児を扱つて居られる諸君は子供の相手をして居る間に色々の手技を工夫されるであらう。それをノートして置いて應募されても幾らでも材料はあるでせう。又子供等に自由に何か作らせて居る中には、子供相當種々工夫して作るこもあるでせう。それ等の中には必ず大人の考へ及ばぬ好材料を發見せられるこも思ふ。そんなのに少し工夫を加へれば無限によい手技の題目が見つかるでせう。そんなのを應募されれば必ず面白いものが現はれると思ふ。子供等の仕事の中から、子供等にやらせてよい材料を見つけ出さうと努力する位の熱は保姆諸君は誰れでもが持つて居られるでせう。又先生が常に何かを求め、工夫し、製作して居るこは、一つの社會的環境を作るこになつて、子供等の仕事の衝動を刺戟し發達させる一動力さなるのであるから、先生が常に工夫し製作するこはやがてその可愛い教へ子の中から發明家を産み、生産力ある國民を育て上げるこになるのであるから、此の方面に對しても御盡力下さるやう那家のために御願する次第である。